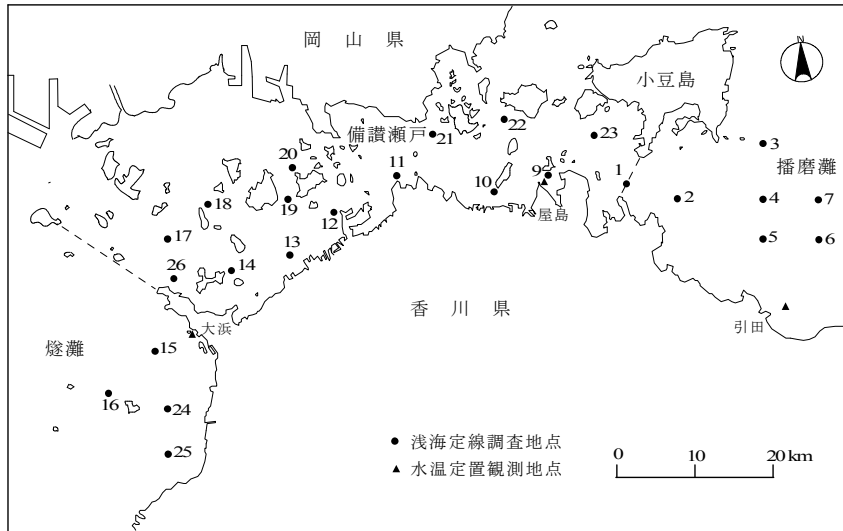


香川県漁海況速報 平成20年10月 (H20-7号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成20年10月1、3日 (播磨灘)、2日 (備讃瀬戸、燧灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「平年並みからやや高め」、塩分は「やや高めからかなり高め」、透明度は「やや低めからやや高め」、溶存酸素は「やや低めから平年並み」であった。

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/L)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播磨灘	7地点平均値	25.4	25.3	25.1	32.6	32.6	32.6	5.2	4.36	4.19
	平年値	24.9	24.8	24.7	31.6	31.7	31.8	6.9	4.42	4.07
	平年偏差	0.4	0.5	0.4	0.9	0.9	0.8	-1.7	-0.06	0.12
	状況	やや高め	平年並み	平年並み	やや高め	やや高め	やや高め	やや低め	平年並み	平年並み
備讃瀬戸	14地点平均値	25.1	25.0	25.0	32.8	32.8	32.8	5.0	4.14	4.05
	平年値	24.9	24.8	24.7	31.4	31.5	31.5	3.9	4.29	4.19
	平年偏差	0.3	0.3	0.3	1.4	1.4	1.3	1.1	-0.15	-0.14
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	かなり高め	かなり高め	かなり高め	やや高め	平年並み	平年並み
燧灘	4地点平均値	25.3	25.2	25.2	32.9	32.9	32.9	6.2	4.35	4.20
	平年値	25.0	24.7	24.6	31.6	31.9	32.0	7.5	4.89	4.08
	平年偏差	0.3	0.5	0.6	1.3	1.0	0.9	-1.3	-0.54	0.12
	状況	平年並み	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	平年並み	やや低め	平年並み

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和48年（1973）1月～平成13年（2002）12月

溶存酸素：昭和48年（1973）2月～平成13年（2002）12月

水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み

$0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$ (σ : 標準偏差)

やや高め (やや低め)

$0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$

かなり高め (かなり低め)

$1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$

著しく高め (著しく低め)

$2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

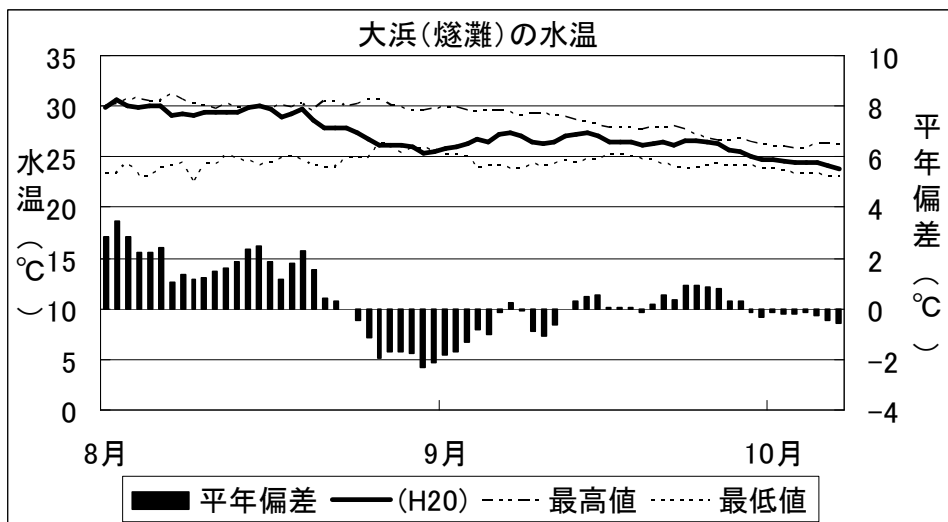
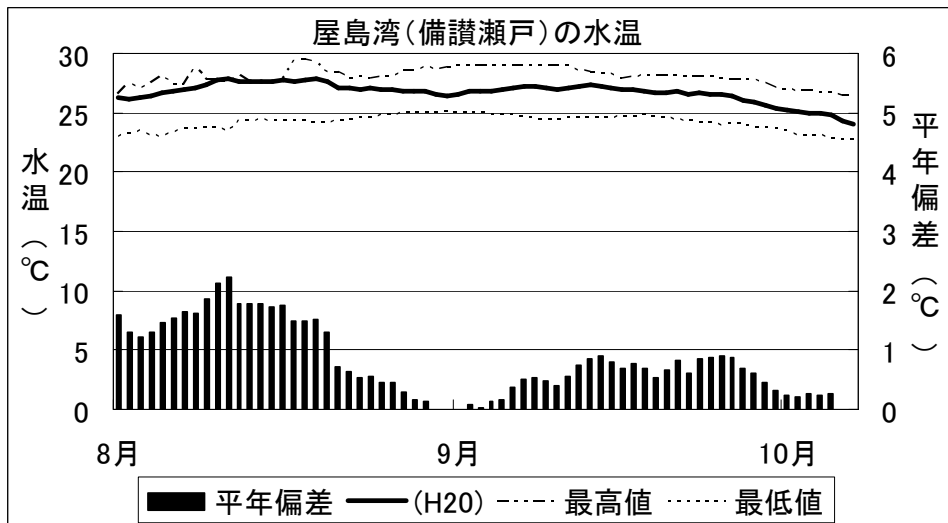
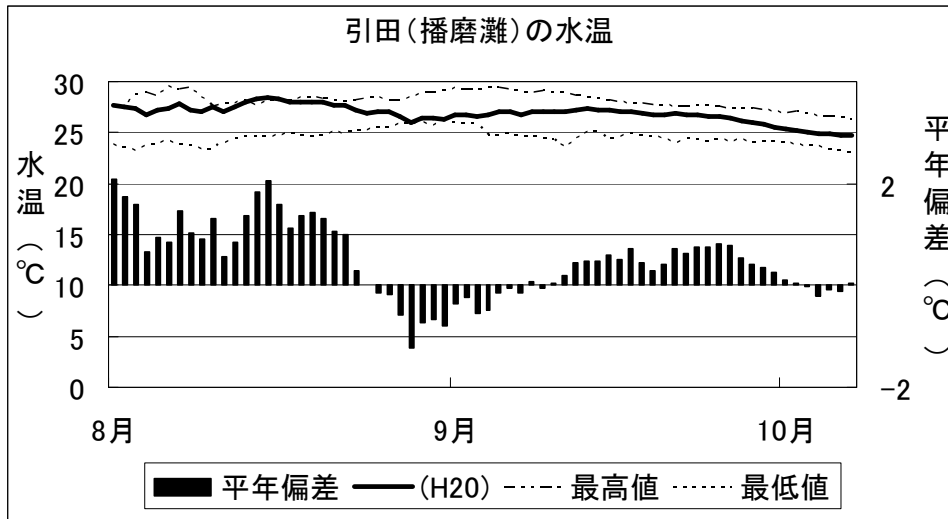
3) 定置観測 (水温)

播磨灘 (引田) : 9月前半は平年並み、後半は平年並みからやや高め、10月は平年並みで推移している。

備讃瀬戸 (屋島) : 9月上旬は平年並み、中・下旬はやや高め、10月は平年並みで推移している。

燧灘 (大浜) : 9月上旬はかなり低めから平年並み、中旬は平年並み、下旬は平年並みからやや高め、10月はやや低めから平年並みで推移している。

平年値の算出期間 引田及び大浜 : 平成元 (1989) ~平成 19 (2007) 年
屋島 : 昭和 50 (1975) ~平成 19 (2007) 年



4) 赤潮 (9月19日～10月14日)

播磨灘：発生なし。

備讃瀬戸：発生なし。

燧灘：発生なし。

5) 卵稚仔

調査日：平成20年10月1、3日 (播磨灘)、2日 (備讃瀬戸、燧灘)

出現量

カタクチイワシ卵の出現量は平均0.86個/曳網 (対平年値95.6%) であった。

2. 漁況

9月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網では、主にイボダイ、小エビ類、カマス類、ハモ、ガザミ、クルマエビが漁獲されている。</p> <p>柵網では主にタチウオ、アジ類 (マアジ)、イボダイ、コノシロ、マルハギが漁獲されている。</p> <p>船びき網のシラス漁の9月の漁獲量は、約62トンで前年の10トンを大きく上回った。</p> <p>サワラ流し刺し網の秋漁は資源保護のため、前年同様休漁している。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網では、主にウシノシタ類、クロダイ、マダイ (小)、イイダコ、小エビ類、コウイカ類が漁獲されているが、マアナゴ、メイタガレイは少ない</p> <p>マナガツオ流し刺網は、9月末日まで漁獲が続いたが、前年を下回る漁獲量であった。</p> <p>サワラ流し刺し網の秋漁は資源保護のため、前年同様休漁している。</p>
燧 灘	<p>底びき網では、主にクマエビ、マアナゴ、シャコ、コウイカ (当歳)、メイタガレイ、タチウオ、カマス類、シロギスが漁獲されている。</p> <p>サワラ流し刺し網は10月から出漁しているが、漁獲は数尾程度と低調である。</p> <p>イワシ機船船びき網は、9月中旬をもって漁期を終了したが、今漁期の漁獲量、生産金額はほぼ前年並みであった。</p>